令和７年度　入学生

総合ビジネス科

科・コースガイド

高崎商科大学附属高等学校

令和７年(2025 年)度総合ビジネス科入学生

学校教育目標

心身供に健康で自主自立を身につけた豊かな人間性の育成を図る。

○ 自ら学び、自己教育力を深める生徒

○ 自ら考え、自己表現のできる生徒

○ 他人を思いやる心、感動する心を持つ心豊かな生徒

○ 品位と節度ある明るい公正な生徒

○ 男女の特性を理解し、お互いに協力し、向上する生徒

校　　訓

親　　愛　　感謝の心を養い親切と奉仕の実践に努めよう

礼　　節　　礼儀を重んじ品位と節度の保持に努めよう

整　　美　　心身を整え環境の美化に努めよう

クラス目標

学　年	目　標　記　入　欄
第１学年	
第２学年	
第３学年	

創立者「佐藤タ子先生」の生涯

１８７５年（明治　８年）碓井郡坂本宿の八幡宮の神官の家に生まれる。
父（学）・・・教員を養成する学校の教員も務めたこともある。
母（とう）

（松井田町の様子）
この頃の松井田は宿場町として繁栄し、旅館や商店が立ち並んでいた。町の子供たちはメリンスの着物（羊の毛で織った毛織物）を着て、きれいな帯を締めかんざしなどをつけ身なりは派手であった。比較的裕福な家が多かったので「小遣い」は自由に使っていた。

夕子先生・・・家の生活が厳しく楽ではなかった。晩秋から冬にかけて境内の杉の枯葉拾いをするのが仕事であった。この杉の葉を利用して母がおいしいご飯を炊いてくれた。兄弟で集めた杉の葉はＩ年中使えるほどの量が集まった。

夕子先生は兄たちの勉強する姿を見て、小学校に入学しないうちに「女大学」などの教科書が読めるようになっていた。

（※女大学・・女の修身等を仮名文で記した書）

また、夕子先生は小学校に入学するまでに全科目を勉強してしまったので小学校に入学しても復習をしているようであった。この頃の学校は、試験結果によって進級する決まりがある。そのため、「比較試験」を受験した。

（※比較試験・・中央の学校に集まって試験を受験しその子供や学校の能力を調べる試験のこと）

ハプニングが起きる。それは、兄弟が全員受験することとなったため、筆が足りなくなる。　筆は、兄の試験が終わったら借りることになっていたのだがその試験が終了する前に夕子の試験が始まってしまった。そのため・・・

高等小学校を卒業後　家事や畑仕事に取り組む。

１８９６年（明治２９年）長野県南佐久郡の商家へ嫁ぐ。
経済的に厳しく、嫁入りの時に母親が作ってくれた。
着物なども質屋に出されるようになる。

１８９９年（明治３２年）協議離婚する。（夕子先生２４歳）
碓氷郡細野村（松井田町）の小学校の臨時教員となる。

１９０１年（明治３４年）東京裁縫女学校卒業。中等教員検定試験合格。
兄弟が学費を出してくれた。

１９０６年（明治３９年）高崎市柳川町に私立裁縫女学校開校。
※女子の教育が遅れている。
※家庭の主婦として、学問や技術を身につける。
※女子としての教育や道徳を身につける。
この３項目を備えた良妻賢母（良き妻であり、かしこい母であること）の学校を作る必要があると考えた。
夕子先生が３１歳の時生徒数が１００名を超える。

１９３４年（昭和　９年）高等女学校長協会より女子教育功労者表彰。
１９５２年（昭和２７年）群馬県知事より永年教育功労者表彰。
１９５３年（昭和２８年）文部大臣より教育功労者表彰。
１９５３年（昭和２８年）１１月２２日　群馬の女子教育に一生をささげ
７８才で亡くなる。
『良妻賢母の教育者　佐藤夕子の生涯』の著者・小野里良治
「損得の計算など少しも持たず、ひたすら自分の夢と理想に向かって突き進むが、猪突猛進ではない。常に関係する人を温かい心で包む思いやりがある。」と夕子について書かれています。

学校の沿革

１９０６年（明治３９年）	４月	私立裁縫女学校創立。
１９０７年（明治４０年）	４月	私立佐藤裁縫女学校に改称。
１９４３年（昭和１８年）	４月	佐藤高等技芸女学校に改称。
１９４８年（昭和２３年）	４月	佐藤技芸高等学校に改称。
１９５１年（昭和２６年）	３月	学校法人佐藤学園に組織変更。
１９６１年（昭和３６年）	４月	商業科設置
１９６１年（昭和３６年）	６月	佐藤学園高等学校に改称。
１９６２年（昭和３７年）	４月	普通科設置
１９６８年（昭和４３年）	４月	附属幼稚園開園
１９８７年（昭和６２年）	４月	学校法人高崎佐藤学園に改称。
１９８８年（昭和６３年）	４月	高崎商科短期大学（商学科）開学 高崎商科短期大学附属高等学校に改称。
１９９１年（平成３年）	４月	情報システム科・情報経理科設置
１９９６年（平成８年）	４月	情報システム科を国際情報科に科名変更
２００１年（平成１３年）	４月	高崎商科大学（情報流通学部開学） 高崎商科大学附属高等学校に改称。
２００２年（平成１４年）	４月	男女共学化
２０１１年（平成２３年）	４月	総合ビジネス科設置 全学科・全コース男女共学スタート
２０１６年（平成２８年）	４月	総合ビジネス科会計コース設置
２０２２年（令和４年）	４月	総合ビジネス科 会計コース総合ビジネスコース設置

生活規定

次の規定は、生徒が本校の教育方針に従い正しく、学校生活を送るために必要な事項を示したものである。

１．礼　儀

（１）言語、動作は明瞭快活にして、礼儀正しく気品を保つよう努める。特に目上の人に対しては、礼儀を失わないようにする。

（２）来校者に対しては常に礼をつくし、親切丁寧に接する。

（３）生徒間にあっては各学年それぞれの分を守り、互いに睦まじく接する。

２．服　装

※　服装は清潔なもので、品位を失わないように心がける。

※　制服は冬服・夏服の二種類として、色、生地、型は学校制定とする。

※　休日の登校についても制服、あるいは部活動の制定のものとする。

（１）制服

Ａ　スタンダードコーディネート

〈スラックスタイプ〉

冬⇒３つボタンジャケット、冬用スラックス、
ネクタイ（ブルーのボタンダウンシャツ、ラペルピン）

夏⇒青の半袖シャツ、夏用のスラックス

〈スカートタイプ〉

冬⇒３つボタンジャケット、タッタソールチェックのスカート、リボン、制定のハイソックス（ブルーのボタンダウンシャツ、ラペルピン）

夏⇒セーラー服、夏用スカート、制定のハイソックス

（２）セーター・ベスト・ポロシャツは学校制定とする。

（３）着用期間

冬服　⇒　４月１日～5 月 31 日
10 月１日～3 月 31 日

夏服　⇒　６月１日～9 月 30 日　　※天候により別途指示あり

・セーター、ベスト、ポロシャツでの登校可能（儀式、指定日を除く）

・校内において、名札を所定の位置(左胸)につける。

〈スカートタイプ〉

・スカート丈は膝を基準とする。

・リボンに替えてネクタイ可

・ストッキングは肌色・冬は黒色のタイツ（８０デニール以上）も可

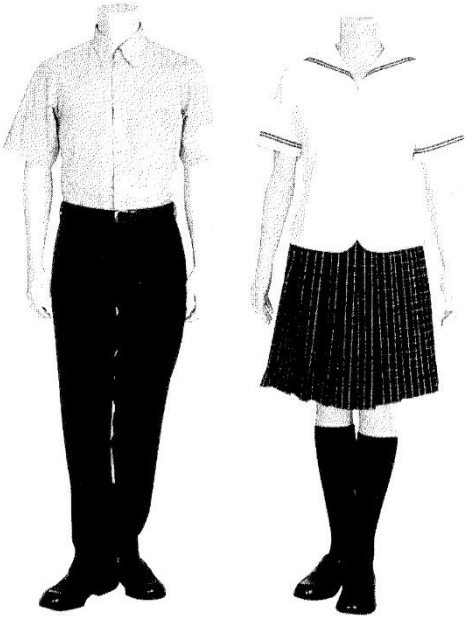
・ソックスは紺のハイソックス（儀式、指定日は制定ソックス）

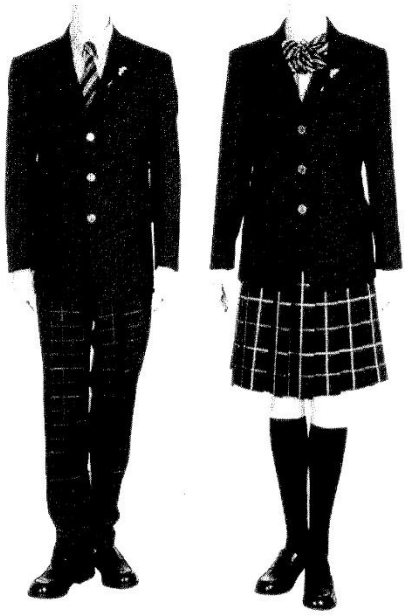
〈スラックスタイプ〉

・ベルトの色は黒、紺、茶色を基本とする。(金具等の装飾のないもの)

・ソックスは、派手にならないものとする。白・黒・紺・グレー

（スタンダードコーディネート春夏版）　（スタンダードコーディネート秋冬版）





体形に制服が合わなくなった場合は、必ず担任に申し出て「関東トンボ（業者・事務室窓口）にて修理を依頼すること

総合ビジネス科教育目標と特色

総合ビジネス科の目標

ビジネス社会で主体的に活躍できる心身ともに健康な人間を育成します。特に、情報化・サービス経済化・事務の効率化に対応した、より専門的分野（商業・経理ビジネス・情報・会計）の学習を行い、会計や経理事務のスペシャリスト、情報社会で通用するスペシャリストを育成します。同時に豊かな経済生活を営むためのさまざまな知識や技術を身につけ、その能力と実践的な態度も育て、高崎商科大学及び短期大学とカリキュラム連携し、より高度な専門能力を養います。

総合ビジネス科の特色

① 高大連携授業

附属高校の特色を生かした連携授業を進めています。高崎商科大学と“実学実践”で連携。２年次の ４ 月より会計コースは、高崎商科大学の授業に参加し、専門知識の習得や資格取得に努めます。

②インターンシップ実施

職場のマナーや勤労の大切さを学ぶと同時に、産業社会における専門知識や技術を習得します。また、自己の適性や興味をもとに将来の進路を考えるうえで職場の実態を体験し、正しい勤労観・職場観を身につけます。

（実施引き受け企業例）

株式会社ＪＴＢ・桂川会計事務所・グランビュー高崎・サロンドジュン・ドラッグスギ・ビークス美容室・ホテルメトロポリタン高崎・関東トンボ・群馬トヨタ・トップツアーズ・昭和建業　アーセンティア迎賓館・アーバンホテル・LABI1 高崎・ワシントンホテル・高崎商科大学　等

年	月	日	実施事項	指導内容	対象	備考
7	5	7	インターンシップ希望調査配布	インターンシップ実施の概要・取り組みについて指導実施	総合ビジネス科全クラス	締め切り日 5月16日
	5	19	インターンシップ企業連絡受け入れ先確認(受け入れ可能人数等)			担当者決定・担任実習先割り振り開始
	6	30	企業訪問開始(6/30～7/3) 「依頼状持参・挨拶」実施			担当教諭 企業訪問
	7	10	事前指導実施（LHR利用） 記録ノート記入作成（生徒）	インターンシップの心得を指導・担当教諭より勤務内容、時間、マナー等記録ノート作成指導。企業によっては事前指導あり。		記録ノート利用・教員(事前準備)
	7	18	終業式(終了後担当教諭との最終確認)	ＨＲ時間を利用し、マナー・態度・就業に関することを最終確認。		
	7	22	インターンシップ実施(各企業によって日程設定あり)			受け入れ企業への巡回実施（担当教諭）
	8	28	事後指導実施	実習終了後、インターンシップノートを完成させ担当教諭に報告・関係職員に対して事後報告実施		終了後担当教諭より企業に対して電話連絡等実施

③ＩＣＴ教育の実践

授業において情報通信技術（ＩＣＴ）を活用した教育を実施しています。ＩＣＴ教育の導入により、視覚・聴覚を活用した授業を実践することができ、生徒同士での学習内容の共有や質問などがより容易に行われるようになっています。このシステムを利用し、様々な資格取得やビジネスに関する知識を深めます。

総合ビジネスコース　各コースについて

１年次は商業に関して幅広い学習を行います。２年次から各コースを希望制で選択します

〈総合ビジネスコース〉

①ビジネスシーンで運用するスキルの獲得
実務的・体験的学習を重視し、専門的知識・ＯＡ技術などの幅広い実務技能を身につけ、数多くの資格取得を目指します。

②幅広い資格取得
さまざまなビジネスシーンで活躍できる人材育成をします。

③即戦力の育成
経理事務のスペシャリストとして豊かな経済生活を営むための能力と実践的な態度を育てます。

④情報社会で通用するスペシャリストを育成
画像処理・プログラミングなど、さまざまな場面で活躍できる情報スキルを身につけます。

⑤ワンランク上の資格取得
情報処理検定に加え、難関の国家資格「ＩＴパスポート試験」「基本情報技術者試験」の資格取得に挑戦します。

〈会計コース〉

①会計のスペシャリストの育成
将来の公認会計士や税理士もしくは企業における経理・会計担当者として活躍できる人材になることを目指します。

②目標とする資格
日商簿記２級及び１級

③高崎商科大学のホールＡプロジェクト(日商簿合格プログラム)を導入。

＊＊＊ホールＡプロジェクトとは＊＊＊

高崎商科大学の支援による会計指導をホールＡプロジェクトといいます。
会計コースの中で、適性審査を受け、その結果により選抜されます。

（目標）・・・将来の公認会計士・税理士
検定試験の上位級取得(日商簿記)

（場所）・・・高校及び高崎商科大学経理研究所
高校（会計コースの生徒は全員簿記部に所属し、学習活動の中で、視聴・模擬問題などに取り組みます。）
大学(高崎商科大学に移動し、指定された教室で学習します。)

（その他）
移動方法・・基本的には授業担当者がバスを運転し大学まで送迎します。

進路指導計画

１．目標

①将来の進むべき道を、生徒一人ひとりが主体的に認識すると同時に、授業を通じて、物事を主体的に考え、学力の向上を図ります。

２．目標実現のために実施

①学力の定着

・授業の充実
・各種資格の習得
・講座制補習（検定前集中補習の実施）
・家庭学習の定着
・SHR 前（8:35～朝学習）の実施

②ガイダンス・講演会の実施

・自己の能力、適正、趣味、関心などについて的確な自己判断ができる方法を学びます。
・各進路の内容、特色、生活など資格と職業について学びます。

③体験学習を通して、社会を認知

④各種テストの実施

⑤進路状況の提供（進路希望調査と個人面談の実施・進路ガイダンス・就職ガイダンスの実施）

令和７年度　全国商業高等学校協会　各種検定試験一覧表

６月の検定試験

試験日	検定	申込期間
6月7日(土)～7月27日(日)	ビジネスコミュニケーション検定試験（1回目）	4月14日(月)～4月25日(金)
15日(日)	第150回ビジネス計算実務検定試験	4月7日(月)～4月15日(火)
22日(日)	第100回簿記実務検定試験	4月8日(火)～4月16日(水)
29日(日)	第74回ビジネス文書実務検定試験	4月11日(金)～4月24日(木)

９月の検定試験

試験日	検定	申込期間
7日(日)	第74回英語検定試験	6月6日(金)～6月19日(木)
28日(日)	第73回情報処理検定試験	6月24日(火)～7月7日(月)

11 月の検定試験

試験日	検定	申込期間
11月1日(土)～ 12月21日(日)	ビジネスコミュニケーション検定試験 (2回目)	9月8日(月)～9月19日(金)
9日(日)	第151回ビジネス計算実務検定試験	8月26日(火)～9月8日(月)
23日(日)	第75回ビジネス文書実務検定試験	9月12日(金)～9月29日(月)

12 月の検定試験

試験日	検定	申込期間
14日(日)	第17回財務諸表分析検定試験 第17回財務会計検定試験 第17回管理会計検定試験	10月7日(火)～10月21日(火)
21日(日)	第75回英語検定試験	9月19日(金)～10月6日(月)

1 月の検定試験

試験日	検定	申込期間
18日(日)	第74回情報処理検定試験	10月21日(火)～11月4日(火)
25日(日)	第101回簿記実務検定試験 1･2級(PBT方式)	10月28日(火)～11月11日(火)
1月5日(日)～ 2月1日(日)	第101回簿記実務検定試験 3級(CBT方式)	10月28日(火)～11月11日(火)

2 月の検定試験

試験日	検定	申込期間
1日(日)	第40回商業経済検定試験	11月5日(水)～11月18日(火)

検定試験について

簿記実務検定試験・・商取引の基礎及び帳簿への記録、伝票作成、決算、企業会計の基礎、原価計算、費目別計算、製品別計算など帳簿記入を中心とした技術をはかります。

１級（会計・原価計算の２科目合格で１級合格となる）

情報処理検定試験・・１級（情報処理機器の活用に関する知識、ハードウェア・ソフトウェアに関する知識、情報通信ネットワークに関する知識、情報機器の導入と管理に関する知識など）←筆記試験のみになります。

２・３級（上記の内容の筆記試験）及び実技試験（表計

算ソフトの活用を行いデータベースの活用や関数式の利用）の能力をはかる検定になります。

ビジネス文書検定試験・・速度入力並びに文書作成能力をはかるもので、ワープロの知識及び、技術を試験するものです。分野別（速度部門）１級(７００字以上）２級(４５０字以上）３級(３００字以上）（ビジネス文書部門）ビジネス文書の作成（社外文書の作成）を中心に実施。資料を参照し報告書の作成やデータの編集を行う。

ﾋﾞｼﾞﾈｽ計算実務検定試験・・普通計算部門（乗算・除算・見取算・伝票等）ビジネス計算部門(売買･損益の計算、単利計算、手形割引計算、複利計算）など電卓を使用し計算技術をはかります。

ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ検定・・経済社会の一員としての望ましい心構え、ビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度について学び、社会人として必要なマナーやコミュニケーションに関する基礎的な知識・技術を身につけます。

日商簿記検定試験・・経営管理に役立つ知識として、企業に求められる資格の一つ。企業の財務担当者に必須で、高度な商業簿記・工業簿記（原価計算を含む）を修得します。財務諸表の数字から経営内容を把握できるようになります。

秘書技能検定試験・・一般社会人としての知識、仕事を行う上での言動・マナー等の知識、秘書としての専門的な秘書業務の知識をはかります。(人間関係・話し方・交際の業務・会議・文書の作成・経営学・事務処理など)

ＩＴパスポート試験・・経済産業大臣認定の国家資格です。現在の高度情報化社会において、ＩＴリテラシー向上とＩＴ人材の裾野拡大のため、実施されている試験です。学生や入社後間もない若年層の人を始め、すべての国民が対象となっているＩＴの入門的な資格です。年間を通じて実施されています。

基本情報技術者試験・・情報処理技術者試験は、経済産業大臣認定の国家資格です。基本情報技術者は、情報化社会を支える情報技術者になるための資格です。この資格を取得すると、情報処理技術者として、企業で高い評価が得られます。年２回実施されています。

●検定試験合格に向けてのアドバイス●

・各種検定試験に向けて積極的に取り組んでください。

・検定試験前に、補習授業を実施します。参加してください。

※検定試験資格取得目標(目指せ！１級)

〈第１学年〉

簿記実務検定試験　２・３級（全国商業高等学校協会）
情報処理検定試験　２・３級（全国商業高等学校協会）
ビジネス文書実務検定試験　２・３級（全国商業高等学校協会）
ビジネス計算実務検定試験　２・３級（全国商業高等学校協会）
ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ検定（全国商業高等学校協会）
日本商工会義所　簿記検定　３級　　・　漢字検定・英語検定　等

〈第２学年〉

簿記実務検定試験検定試験　１・２級（全国商業高等学校協会）
情報処理検定試験　１・２級（全国商業高等学校協会）
ビジネス文書実務検定試験　１・２級（全国商業高等学校協会）
ビジネス計算実務検定試験　１・２級（全国商業高等学校協会）
ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ検定（全国商業高等学校協会）
日本商工会義所　簿記検定　２級（会計）　・　漢字検定・英語検定　等

〈第３学年〉

商業経済検定１級　　上記の検定すべての１級
国家資格・・・IT パスポート　　漢字検定・英語検定　等
日本商工会義所　簿記検定１級

総合ビジネス科　新教育課程編成（R7・2025 年度入学）

教科		科目	標準単位	1学年	会計コース 第2学年	会計コース 第3学年	総合ビジネスコース 第2学年	総合ビジネスコース 第3学年	会計コース小計	総合ビジネスコース小計
普通教科	国語	現代の国語	2	2						
		言語文化	2	2						
		論理国語	4		2	2	2	2	8	8
	地理歴史	地理総合	2		2		2			
		歴史総合	2			2		2	4	4
	公民	公共	2	2					2	2
	数学	数学Ⅰ	3	2	2		2			
		数学A	2			2		2	6	6
	理科	科学と人間生活	2		2		2			
		生物基礎	2			2		2	4	4
	保健体育	体育	7～8	2	2	3	2	3		
		保健	2	1	1		1		9	9
	芸術	音楽Ⅰ	2	1		1		1	2	2
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3						
		英語コミュニケーションⅡ	4		2	3	2	3	8	8
	家庭	家庭基礎	2		2		2		2	2
	情報	情報Ⅰ	2						0	0
普通科目小計				15	15	15	15	15	45	45
専門教科	商業	ビジネス基礎	2～4	2						
		課題研究	2～4			3		3		
		マーケティング	2～4		2		2			
		商品開発と流通	2～4		3β		3β			
		観光ビジネス	2～4					3		
		簿記	2～4	5						
		財務会計Ⅰ	2～4		4		4			
		財務会計Ⅱ	2～4			3γ				
		原価計算	2～4		3α		3α			
		管理会計	2～4			3				
		情報処理	2～4	4						
		ソフトウェア活用	2～4		3β		3β			
		プログラミング	2～4		3α		3α			
		ビジネスマネジメント	2～4			3		3		
		ビジネス法規	2～4			2		2		
		商業演習Ⅰ	2～4	3						
		商業演習Ⅱ	2～4		2		2			
	情報	コンテンツ制作と発信	2～6					3γ	42	42
専門科目小計				14	14	14	14	14	42	42
総合的な探究(学習)の時間			3～6							
HR活動				1	1	1	1	1	3	3
単位合計				30	30	30	30	30	90	90
		科目数		*12*	*13*	*12*	*13*	*12*		

1 必修科目と専門科目の履修について
・第1章 総則 第2款 (2)各教科・科目の履修等 イ 専門学科における各教科・科目の履修 (イ)の抜粋
「・・・必履修教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その専門教育に関する各教科・科目の履修をもって,必履修教科・科目の履修の一部又は全部に替えることができる。」
2 商業科の要件と外国語科目について
・第1章 総則 第2款 (2)各教科・科目の履修等 イ 専門学科における各教科・科目の履修 (ア)の抜粋
「・・・専門学科においては専門教育・科目について、すべての生徒に履修させる単位数は25単位を下らないこと。ただし,商業に関する学科においては,上記の単位数の中に外国語に属する科目の単位を5単位まで含めることができる。」
3 「総合ビジネス科」は大学科「商業科」の枠組みとする。
4 「商業演習Ⅰ」、「商業演習Ⅱ」は学校設定科目である。
5 「情報Ⅰ」は商業科「情報処理」の履修を持って振り替える。
6 「総合的な探究の時間」は商業科「課題研究」の履修を持って振り替える。
7 選択科目は3αのうち1科目、3βのうち1科目、3γのうち1科目を選択する。

商業情報科目の紹介

（第１学年）

・ビジネス基礎・・商業の各分野に関する基礎的、基本的な知識と技術を習得し、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行い、経済社会の発展に寄与する能力と態度を身につける。

・簿　　記・・企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得させ、簿記の基本的な仕組みについて理解させるとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てる。

・情　報　処　理・・情報処理機器の活用に関する知識と技術を修得させ、ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割について理解させるとともに、情報を適切に収集、処理し活用する能力と態度を育てる。

・商　業　演　習・・電卓やソフトウェアの利用技術を習得し、技術の知識や役割について理解するともに、ビジネスの諸活動において活用する能力と態度を養う。

（第２学年）

・原　価　計　算・・製造業における原価計算及び、簿記に関する基本的な知識と技術を習得させ、原価について理解させるとともに、計算から得られる情報を活用する能力を身につけさせる。会計コースは日商簿記３級及び２級を学習する。

・財 務 会 計 Ⅰ・・会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

・課　題　研　究・・商業の課題を設定し、その課題解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の進化、総合化を図るとともに問題解決の能力や自発的、創造的な学習をする。

・商品開発と流通・・商品開発に関する知識と技術を習得させ、顧客満足度の重要性について理解させるとともに、商品企画･開発し、流通活動を行う能力と態度を育成する。

・マーケティング・・経済のグローバル化や顧客のニーズの多様化など市場環境が変化する中で、顧客満足の実現、顧客の創造、顧客価値の創造などマーケティング考え方の広がりに対応して、効果的にマーケティングを展開するために必要な資質・能力を育成する。

・ソフトウェア活用・・企業活動においてソフトウェアを活用するために必要な資質・能力を育成する。

・プログラミング・・プログラミングと情報システムを開発する環境の多様化と携帯型情報通信機器の普及に対応するとともに、プログラムと情報システムの開発を一連の流れとして捉え、企業活動に有用なプログラムと情報システムを開発するために必要な資質と能力を育成する。

（第３学年）

・管　理　会　計・・経営管理に有用で適切な会計情報を提供するとともに、効果的に活用するために必要な資質・能力を育成する。

・ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ・・企業活動が社会に及ぼす影響に責任を持ち、経営資源を最適に組み合わせて適切にマネジメントを行うために必要な資質や能力を身につける。

・観光ビジネス・・地域の活性化を担うよう、観光ビジネスについて実践的・体験的に理解し、国内に存在する観光客及び海外からの観光客を対象とした観光ビジネスを展開するために、必要な資質・能力を育成する。

・財務会計Ⅱ・・財務会計Ⅰの学習を基礎として、適切な会計情報を提供するとともに効果的に活用するために必要な資質・能力を育成する。さらに、連結税効果会計に関する内容を取り入れ会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を育成する。

学校行事及び総合ビジネス科行事の紹介

＊＊＊新入生オリエンテーション＊＊＊

高校生としてスタートした１年生において、学校生活の過ごし方、挨拶の大切さ、集団行動などについてオリエンテーションを行います。

＊＊＊日帰り旅行＊＊＊

R7 年度　２学年（お台場・水の科学館)、３学年（ディズニーリゾート）
クラスの団結・社会見聞を深めることを目標とし２・３年生において実施します。

＊＊＊進路講演会＊＊＊

外部講師に依頼して、「進路や社会情勢・職業に関すること」などの様々な講演を実施します。

＊＊＊高崎商科大学・短期大学部１日体験＊＊＊

高崎商科大学において模擬授業への参加や、大学・短期大学の説明等を受けます。

＊＊＊登校講座＊＊＊

各種検定試験対策等の学習を実施し、基礎学力の向上・応用力の向上に努めます

＊＊＊インターンシップ＊＊＊

実際に県内の企業において就業体験をし、職場のマナーや専門知識・技術を習得します。自己の適性や興味をもとに、将来の進路を考える上で役立ちます。

＊＊＊学園祭＊＊＊

2 年に一度学園祭が実施されます。総合ビジネス科では、販売実習を通じて、商品の仕入れから販売・伝票整理等の学習をします。

＊＊＊スポーツ祭＊＊＊

2 年に一度高崎アリーナにおいてクラス対抗でスポーツ祭が実施されます。バレーボールやを中心とした様々な種目で順位を競います。

＊＊＊学園記念日＊＊＊

創立者「佐藤夕子先生」の建学の精神を見つめ直し、高崎商科大学附属高等学校の生徒としての心構えを再考します。

＊＊＊修学旅行＊＊＊（九州方面）

総合ビジネス科は、南九州・北九州を中心に歴史を学び史跡や文化を学びます。主な見学先は、鹿児島・福岡・長崎になります。平和学習や食文化の違い等、見どころ満載の修学旅行になっています。

＊＊＊校外進路相談＊＊＊

進路研究に関する業者が主催する進路ガイダンスへ参加し、進路に関する知識を深めます。また、将来の進路計画を立てる参考資料を収集します。

＊＊＊卒業生を迎えての進路相談＊＊＊

3 年生が実際に体験した、入学試験や就職試験について下級生にアドバイスします。在校生も積極的に質問しています。

合格体験記（1）

城西国際大学　メディア学部メディア情報学科　合格

私は、城西国際大学に指定校推薦で合格しました。私は昔からこれといった具体的な将来の夢がありませんでした。ですので、お金がたくさん儲かる職業に就ければ何でもいいと思っていてネットで「給料が高い職業」と検索してそれを仮の将来の夢にしていました。小学校の中頃には医者になりたく、卒業の頃には銀行の頭取に変わっていました。そして、中学校は飛行機の操縦士になりたいと思っていました。高校に入る前には操縦士になることなんて忘れていて会計士に入りたいと思っていました。今まで将来の夢として上げてきたものは、ネットで調べればどれも給料の高い職種ばかりで自分のなりたいものなど考えていません。

会計士になることを前提として日商簿記が学べる高校に入学し、将来はお金持ちだと簡単な気持ちで会計コースに入りました。しかし会計士になるまでにたくさんの検定があり、どれも取得するためには並の努力では取れないものばかりでした。私は、昔から諦めが早くすぐに止めてしまう傾向があり、今回は自分が本当にやりたくもないことでしたし、難しいのでいつもより早く挫折していました。挫折していたのですが、周りの人は日商簿記に熱が入っていて合わせざるをえなくなり、努力をしないといけなくなりました。しかしそんな人達も後半には挫折して諦めていて私もその一人でした。その挫折してやりたくない気持ちが続く中、あっという間に高校三年生になり進路が近づいてきました。どうしようかと悩んでいる中ネットで大学のことを調べていると、適当に決めた大学に入学して後悔しているというコメントが沢山でていました。大学は小中高の中でも学費が高く、行って後悔し学費を無駄にしたくない気持ちがありました。このこともあり、いつもならすぐ決める自分でもとても悩みました。大学で後悔しないために、自分の好きなことが学べる大学を調べていると出てきたのが城西国際大学でした。指定校推薦で行くためには、今までの平均評定より 0.1 上げないといけませんでした。0.1 だけですがそれがとても難しく努力をして 0.1 上げることに成功しました。

やりたい事、将来の夢が無い人はそれでいいと思います。無理に探そうとして疲れるより自分の好きなことを夢にみれば、やりたくないことを続けるよりも、もっと楽しく過ごせると思います。

合格体験記（２）

高崎商科大学　商学部　経営学科　系列校推薦　　合格

自分が将来やりたいことが明確になっている高校生は少ないと思います。確かに、才能や実績のある人、今まで何かに向けて努力してきた人、何か一つの夢への強い想いのある人は、やりたいことが決まっているかもしれません。しかし、そういった人たちは少数派で、少なくとも自分にはそういったものがありませんでした。ただ、なんとなく私は、「会計に興味があるな」「高校から勉強しやすい資格だから簿記関係が面白そうだな」といった漠然とした興味がありました。そしてその先にある公認会計士がいいなと考えるようになりました。つまりいくつかにジャンル分け(事務・会計系、接客業、工員　等)された一つの括りでしか考えてませんでした。 高崎商科大学への進学を決めたのは高校 2 年の秋頃でした。 理由は、とりあえずこのまま簿記を学べて、系列校の大学であれば、高校の先生から色々な話(学校の制度や系列校の減額制度)などを聞けたためそれらの情報を踏まえて自身の漠然とした夢に近づきやすいと考えたからです。 その時にはすでに日商簿記 2 級を取得しておりこのままいけば系列校とは別の優待される枠(Haul-A 特待)に入れるという話でした。 しかし私には明確に目標もないためモチベーションも保てず、少しずつ日商簿記 1 級の勉強についていけなくなり更にモチベーションが保てなくなりました。そうなると益々他の生徒と差がついていき、最終的には特待生の枠を逃してしまうことになりました。努力を重ねてさえいれば、手に入れることができたはずだった枠を逃してしまったことで以前よりも焦りが出てしまい、その後どうすればいいのか分からなくなってしまいました。進路に関してほとんど何も考えられませんでした。しかし以前から内部進学することを決めていたので以前利用しようと思っていた枠を使用する方向に修正することでなんとか進路を決めることができました。 そんな私からアドバイスができることは、前々からどんな方向の学校や就職先にするのかを決めていきできるだけ早い時期に志望校を一つに絞ることでやるべきことや目標も明確になります。 学校を調べる際にはネットや大学のパンフレットで調べるのもいいですが、周りの人に相談するのが一番良いと思います。 進学先や就職先に関してだけでなく、進学前に調べておいた方がよいことや、知っておいた方が良いことなどできる限り多くの意見や下調べをして様々な学校を比べて、後悔しないような学校、進路選択をしてください。

合格体験記（３）

神田外語大学（外国語学部英米語学科）合格

私は神田外語大学に公募制推薦で合格しました。

まず反省点として、3 年生の春になるまで進路についてしっかりと考えてこなかったことです。推薦してもらうためにも条件があるので早いうちから条件が揃うように準備しなければなりません。私の場合、英検 2 級以上を取得していることが条件の 1 つにありました。私は総合ビジネス科のため、英会話の授業もなく検定も商業系ばかり受けていたので中学生の時と比べ英語とは疎遠になっていました。そして、気づいたときにはもう遅く学校で受けられる英検の申込日は過ぎていました。諦めようと思っていたところ、担任の先生が調べてくださり CBT 試験を提案してもらいました。このチャンスを絶対に逃したくないと思い、少ない時間必死に勉強し、間に合わせることができました。このことから余裕を持って行動できればよかったと思います。

次に、良かった点は 1 年生の時から定期テストの勉強は手を抜かずに高い評定をもらえるように頑張ってきたことです。自分のやりたいことがみつかったときに、評定が足りなくて諦めるのは避けたいのと選択肢が多いほうが良いと思ったので評定平均を高く保つために苦手・得意など関係なくどの教科も高得点を狙いました。

試験は、口頭試問と面接でした。試験の 1 ヶ月前から毎日新聞を読み、ニュースを見て対策をしました。面接練習は先生方や親に協力してもらい、スラスラと話せるように何度もシミュレーションをしました。本番は思ったよりも質問攻めで内心は驚きましたが、落ち着いて受け答えをすることができました。

◎ポイント

・どんな進路に進むとしても評定が高ければ選択肢は広がるのでテストを頑張る
・1 人で悩んでいても何も進まないので先生に相談する
・少しでも興味がある分野について 1.2 年生の時から深く調べる

最後に、私の第一志望の大学に合格できたのは、親身になって相談に乗ってくださり一緒になって大学について調べてくれた担任の先生のおかげです。本当に感謝しています。これからも自分の夢に向かって努力し続けます。

高校 3 年間はあっという間です。1 日 1 日を大切にしてできることを考え、行動することが大切だと思います。

合格体験記（４）

西武プリンスホテルワールドワイド　東京プリンスホテル合格

私は、２年の夏休みに進学から就職へ進路を変えました。
１年の７月にコース選択で会計コースを選び、日商簿記を学び始めました。そのことから、大学に進学し、簿記や会計学を学び、税理士や公認会計士になりたいと考えていました。しかし、２年に進級してから生半可な考えだと気づきました。その気づきは、やる気に変わらず、「何を学びたいのか」と、わからなくなっていました。進路を考えていくうちに、「やりたいこともなく大学に進学するくらいならば、就職をするべき」と考え、進路を決めました。

就職するにあたり、どの業種にするのか、どの企業にするのかを進路資料や求人票などで探し、自分の趣味である旅行に関するホテル業に就きたいと決めました。そこから、毎日どの企業にするか悩んでいたところ、就職担当の田村先生が東京プリンスホテルを紹介してくださいました。

夏休みには職場見学会に参加し、業務内容などの説明や施設を案内してくださったり、職場内の雰囲気を味わうことができ、入社したい気持ちが強くなりました。
それから、履歴書の書き方や面接練習を行いました。面接練習では、田村先生や担任の長沼先生、同じ会計コースの友人にも手伝ってもらいました。

面接試験は、面接官３人、受験者１人で行われました。志望理由や入社後どうなりたいか、自己 PR などの質問を受けました。私は沢山練習した甲斐もあり、スラスラと自信を持って受け答えができました。そして、内定通知を受け取ったときは、安心と嬉しい気持ちでいっぱいでした。

これから就職、進学を考えている人へ、夢を追いかけていたら、壁にぶち当たることもあると思います。それは、簡単に手に入らないから夢であり、その壁に打ち勝って掴むのが夢なのです。夢に向かって諦めず頑張ってください。

合格体験記（５）

株式会社 IHI　航空・宇宙・防衛事業領域ライフサイクルソリューションセンター・IHI エアロスペース　合格

私は３年生になっても進路について明確な目標が定まらず、不安を抱えていました。周りの友人たちが入学先や就職先を次々と決めていく中、自分はどうすればいいのか悩む日々が続きました。しかし、そんな中で改めて自分の性格や得意なことを見直してみた結果、目標もないまま大学に進学するより就職して経験を積む方が自分に合っているのではないかと考えるようになりました。そこで、田村先生が開催してくださった企業説明会に参加することに決めました。

企業説明会では、さまざまな会社の話を聞くことができ、自分が興味を持てる企業を絞り込みました。その中でも特に気になった会社があり、企業見学会に参加することにしました。実際見学した時に社員の方々も雰囲気がとても良くて働きやすそうな環境だと感じました。職場全体が明るく楽しそうな印象を受け、ここで働きたいと強く思うようになりました。

進路を決めるのが遅かったのですが、できることを精一杯やろうと決心し、就職試験に向けた準備を本格的に始めました。まずは、面接練習に力を入れて毎日放課後に田村先生と一緒に質疑応答を考えたり、面接時の礼儀作法や受け答えの仕方を何度も練習しました。そのおかげで次第に自信がついていきました。また、SPI や一般常識の勉強も毎日コツコツと重ねました。

さらに企業で開かれているロケット祭りにも参加しました。その場では実際に働いている社員さんと直接お話する機会があり、会社の方針など具体的に知ることができました。イベントを通じて企業の方と交流を深めることで、モチベーションが高まりました。
試験の内容は、一般常識、SPI、面接でした。一般常識の問題は、これまでの基礎がしっかりできていれば大丈夫だと思います。ですが、SPI は早めに対策した方が良いと思います。速さと正確さが重要になってくるので繰り返し練習するべきだと感じました。面接では、「相手の目をしっかり見ること」「笑顔を忘れないこと」「前向きに考えること」を心がけました。準備していなかった質問をされることもありましたが、堂々と素直に答えることを意識しました。

ここまで頑張れたのは、田村先生をはじめとする先生方、そして励まし続けてくれた家族と友人のおかげです。自分一人の力ではここまで来ることはできなかったと思います。進路を考える中で、周りの人たちの支えがどれほど大切かを実感しました。

最後に、これから就職活動を始める皆さんに伝えたいのは「自分を信じること」と「周りの人を大切にすること」です。自分を信じて努力を続ければ、きっと大丈夫です。応援しています。頑張ってください！

合格体験記（６）

群馬県信用組合　合格

私は１、２年生まで進学するか就職するか悩んでいましたが、３年生になって就職に目を向けるようになりました。積極的にいろいろな職種の企業説明会に参加し、情報収集をしました。７月に入り次々と求人票が学校に届き始めました。高校で学んだ知識を活かすことができる職に就きたいと思い探していると、田村先生が信用組合の求人があると紹介してくださいました。夏休みになり、企業見学に行きました。入口で出迎えてくださり最初から好印象でした。また、優しく、フレンドリーに接してくださり私もここで働きたいと決心しました。それから、履歴書の作成を行いました。志望動機の書き方から文字の大きさやバランスなど細かい部分まで指導してくださいました。面接練習では、出やすい質問を何度も練習しながらたくさんのアドバイスを頂きました。就職は、面接と適正検査の２つが行われました。当日は緊張していましたが、社員の方が話しかけてくださり、落ち着いて受け答えをすることができました。履歴書に書かれていることを中心に聞かれたので部活や委員会、検定を持っている人は検定で頑張ったことなどを準備しておくと良いと思います。適性検査は性格についての質問でした。たくさん練習した甲斐があり、後日先生から内定の通知を受け取った時は、とても嬉しかったです。

これから進路先を決めていく方へ、普段から授業を集中して取り組み、努力を積み重ねていくことが大切だと思います。私は総合ビジネス科に入り、検定勉強に励みました。テストとの両立は大変でしたが、少しでも将来に役立てたいという思いで取り組みました。その努力が実を結びたくさんの検定に合格することができました。それが自分の強みとなり、自信につながりました。みなさんも自分の得意なことを高校生活で伸ばしたり様々なことに挑戦したりして多くの経験をしてほしいと思います。たとえ失敗してもその失敗が自分を成長させてくれます。不安になることもあるかと思いますが、先生方や家族が支えてくれます。これからも自分の夢に向かって頑張ってください。

【国語科　シラバス】

科目名	現代の国語			使用教材	教科書	新編　現代の国語（東京書籍）
学　年	1	単位数	2		副教材	学習課題ノート（東京書籍） 漢字ベーシック（明治書院）
科・コース	普通科　進学コース・総合ビジネス科　総合ビジネスコース					

【授業の概要】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」のうち、「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の配当時間が多い科目です。

【学習方法と授業の進め方】

評論文やレポート、官公庁の発行物、規約などの実用的な文章を扱います。「書くこと」、「話すこと・聞くこと」の配当時間が多く、話し合いや発表、記述による学習が中心となります。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っているか。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしているか。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解しているか。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解しているか。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めているか。 ・引用の仕方や出典の示し方，それらの必要性について理解を深めているか。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めているか。	定期考査、授業中の小テスト等
②思考・判断・表現	・目的や場に応じて，実社会の中から適切な話題を決め，様々な観点から情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討できているか。 ・自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫しているか。 ・論理の展開を予想しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしているか。 ・文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握しているか。 ・目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めているか。	定期考査、論述、レポートの作成、発表、グループでの話し合い等
③主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く評論の文章構造や対比関係を捉え、文章の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持とうとしているか。 ・積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように文章の効果的な組み立てや接続の仕方を意識して自分の意見を文章としてまとめ、発表や話し合いをしようとしているか。	ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど
・授業に臨むに当たって、読み、意味調べなどの予習は最低限やっておきましょう。 ・こまめに辞書を引く習慣を身につけましょう。 ・提出物の期限は厳守しましょう。 ・積極的に読書をし、生活や人生について考えを深めましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	1 自己を見つめる	【読むこと】「こんそめスープ」村田沙耶香 筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 【話すこと・聞くこと】「気になるニュースについて話そう」 情報を整理し、内容や構成に注意して話す。		
	5	2 他者に出会う	【読むこと】「水の東西」山崎正和 「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。		
	6	2 他者に出会う	【書くこと】「集めた情報の内容を検討して意見文を書こう」 情報を集めて検討し、構成を工夫して意見文を書く。		
	7	3 言葉と生活 1	【話すこと・聞くこと】「分かりやすい説明をしよう」 【読むこと】「異なる種類の文章を読み比べよう」		
第2学期	9	4 視野を広げる	【読むこと】「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」塚谷裕一 身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。 【話すこと・聞くこと】「情報を整理して話し合おう」 話し合いの進め方を工夫し、考えを深める。	15	
	10	5 社会と関わる	【読むこと】「鍋洗いの日々」村上信夫 自分の道を切り開いた筆者の体験談から仕事に対する思いを読み取る。 【書くこと】「憧れの職業について調べ、まとめよう」 調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。	8	
	11	6 言葉と生活 2	【話すこと・聞くこと】「発想を広げる方法を使って話し合おう」 発想を広げてアイディアを整理し、まとめる。		
	12	6 言葉と生活 2 7 世界とつながる	【書く】「新聞記事を読んで意見文を書こう」 記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。 【読むこと】「美しさの発見」高階秀爾 「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。		
第3学期	1	7 世界とつながる	【書くこと】「読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう」 助言をもとに推敲して、よりよい文章に仕上げる。		
	2	8 世界に目を向ける	【読むこと】「真の自立とは」鷲田清一 「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち。視野を広げる。 【話すこと・聞くこと】「資料を活用して発表しよう」 発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。	17	
	3	1 年次のまとめ	1 年次のまとめ		

【国語科　シラバス】

科目名	言語文化			使用教材	教科書	新編　言語文化（東京書籍）
学　年	1	単位数	2		副教材	学習課題ノート（東京書籍）
科・コース	普通科　進学コース・総合ビジネス科総合ビジネスコース					

【授業の概要】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」のうち、「読むこと」の配当時間が多い科目です。

【学習方法と授業の進め方】

古典や近代以降の文章を扱います。文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを学び、作品や文章の歴史的・文化的背景などへの理解を深めます。また、異なる時代に成立した随筆や小説，物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動を行います。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っているか。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしているか。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解しているか。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めているか。	定期考査、授業中の小テスト等
②思考・判断・表現	・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にしているか。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫しているか。 ・作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈しているか。 ・文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価しているか。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めているか。 ・作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっているか。	定期考査、論述、レポートの作成、発表、グループでの話し合い等
③主体的に学習に取り組む態度	・進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、登場人物の心の動きを読み取ろうとしているか。 ・進んで筆者のものの見方や感じ方を捉えて作品を読み味わおうとしているか。 ・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしているか。 ・進んで文語のきまりや古典特有の表現、漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しをもって古典を学ぶ意義について考えを持とうとしているか。	ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・授業に臨むに当たって、読み、意味調べなどの予習は最低限やっておきましょう。
・こまめに辞書を引く習慣を身につけましょう。
・提出物の期限は厳守しましょう。
・積極的に読書をし、生活や人生について考えを深めましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	現代文編　1随想	【読むこと】「さくらさくらさくら」俵　万智 引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 「言語活動『花』といえば『桜』」？ 現代の言語文化に息づいている古典の常識について興味を持つ。		
	5	古文編　1古文入門	【読むこと】「古文に親しむ」 それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。 「児のそら寝（宇治拾遺物語）」 歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 古文学習のしるべ１～３		
	6	漢文編　1漢文入門	【読むこと】「訓読の基本」 漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 「借虎威（戦国策）」 故事成語の元となった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。	16	
	7	現代文編　2小説1	【読むこと】「とんかつ（三浦哲郎）」 会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。		
第2学期	9	古文編　2随想	【読むこと】「亀山殿の御池に（徒然草）」 「雪のおもしろう降りたりし朝（徒然草）」 随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。		
	10	漢文編　2漢詩	【読むこと】「春暁」「黄鶴楼送孟浩然之広陵」「香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東壁」 漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。 【書くこと】「訳詩を書く」 元の漢詩の魅力が効果的に伝わるように、表現を工夫して訳詩を書く。		
	11	現代文編　4小説2	【読むこと】「羅生門」芥川龍之介 極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。	16	
	12	古文編　4物語	【読むこと】「芥川（伊勢物語）」 「筒井筒（伊勢物語）」 歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。		
第3学期	1	漢文編　3論語 漢文編　4史話	【読むこと】「学ぶということ」 『論語』を読むことを通して、孔子の思想に興味を持ち、ものの見方や考え方を豊かにする。 【読むこと】「曹公戦於白馬（三国志）」 話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。 【書くこと】「『三国志』の英雄ポスターを作る」 好きな人物を選び、調べて得た情報を的確に整理して、人物像が伝わるポスターを作る。	4	
	2	現代文編　5小説3	【読むこと】「夢十夜（夏目漱石）」 表現に即して小説を丁寧に味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。		
	3	古文編　5紀行	【読むこと】「旅立ち（奥の細道）」 構成に注目しながら、作品に込められた思いを読み取る。 【書くこと】「文学碑を調べる」 地域の文学碑を調べ、集めた材料を吟味し、整理する。		

【公民科　シラバス】

科目名	公共			使用教材	教科書	高等学校 新公共(第一学習社)
学　年	1	単位数	2		副教材	新公共ノート(第一学習社)
科・コース	普通科　特別進学選抜コース・特別進学コース・進学コース　　総合ビジネス科					

【授業の概要】

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【学習方法と授業の進め方】

基本的には教科書を中心に進めていきます。図や統計などの読み取りから，観察力・考察力や資料活用の力を身につけます。現代の社会の問題や事例と人間にかかわる事柄をもとに授業を展開していき，多面的・多角的な考察や自身の考えをまとめ，知識や理解を深めます。SDG s を念頭においた授業やグループワーク等も実施します。

【学習評価】

定期考査及び下記の観点別評価により総合的に評価する。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・演習ノート ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
②思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	・定期考査の思考・応用問題 （資料読解・論述問題） ・演習ノート ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況
③主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・討論や発表 ・課題プリントへの取り組み ・ノートの作成状況

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・予習　　教科書・演習ノートを参考に、どんなことを学ぶのかを把握する。
・授業　　授業で学ぶ知識には構造があるので、丸暗記ではなく、関連性を持たせて理解する。
・復習　　現代の諸課題の原因・結果を多角的に考察し教科書を読み、学んだことをその日のうちに理解する。わからないところは自ら調べ、友達や先生に質問する。
・演習　　教科書・演習ノートで学んだ知識を活用して、諸資料を使用し多面的・多角的に考察しながら、的確な表現の仕方を身に着け、教科書の Active Learning の課題や演習ノートの章末問題をやる。
・ノート　ノートは『第２の記憶』、早く見やすく書く。板書以外の口頭説明も必要に応じてメモをとる。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第１編 　公共の扉をひらく 第１章　公共的な空間をつくる私たち 第２章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方	①社会に生きる私たち　②個人の存減と自主・自律 ③多様性と共通性　④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体を目指して ①人間と社会のあり方についての見方・考え方	4 5 16	
	5	第３章　公共的な空間における基本的原理 第２編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第１章 法的な主体となる私たち 主題１ 法や規範の意義と役割	①人間の尊厳と平等、個人の尊重　②民主主義と法の支配　③自由・権利と責任・義務　④日本国憲法に生きる基本的原理 ①私たちと法　②法と基本的人権　③自由に生きる権利と法・規範	4 5 16	
	6	主題２ 契約と消費者の権利・責任 主題３ 司法参加の意義	④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範　⑥法をよりよいものにするための権利 ①様々な契約と法　②消費者の権利と責任 ①裁判所と司法　②国民の司法参加	4 5 10 16	
	7	第２章　政治的な主体となる私たち 主題４ 政治参加と公正な世論形成	①私たちと選挙　②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加　④国会と立法 ⑤内閣と行政　⑥地方自治と住民福祉	16 17	
第2学期	9	主題５ 国際社会と国家主権 主題６ 日本の安全保障と防衛	①国家と国際法　②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 ①平和主義と安全保障　②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和	5 10 16 17	
	10	主題７ 国際社会の変化と日本の役割 第３章　経済的な主体となる私たち 主題８ 雇用と労働問題	①今日の国際社会　②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割 ①私たちと経済　②労働者と権利 ③労働環境と課題	5 8 10 16	
	11	主題９ 社会変化と職業観	①日本経済のこれまでとこれから　②技術革新の進展 ③現代の企業　④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業	8 9 14 15	
	12	主題10 市場経済の機能と限界	①市場経済と経済運営　②市場のしくみ ③経済発展と環境保全　④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉	3 8 13	
第3学期	1	主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障	①金融の意義と役割　②金融のいま ①財政のしくみと租税　②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉　④これからの社会保障	3 8 17	
	2	主題13 経済のグローバル化	①国際分業と貿易　②国際収支と国際経済体制 ③外国為替相場の動き　④グローバル化する経済 ⑤地域的経済統合　⑥国際社会における貧困や格差 ⑦地球環境問題　⑧資源・エネルギー問題 ⑨国際社会のこれから	1 7 8 10 13 17	
	3	第３編 　持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①排出権取引を考える～地球環境問題 ②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える～情報 ⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題	3 7 16 17	

数学科シラバス（総合ビジネス科）

科目名	数学Ⅰ			使用教材	教科書	高等学校数学Ⅰ（数研出版）
学　年	1	単位数	2		副教材	Study-Up ノート数学Ⅰ（数研出版）

【授業の概要】

高校数学の基本

　数学Ⅰでは中学校までの基礎知識を基にさらに体系的にまとめられた高校数学の基本的な内容を学習し、基本的な知識の習得とそれらの活用能力を伸ばします。

【学習方法と授業の進め方】

　各単元の基本事項の解説を行い、例・例題・基本問題と進み理解を深めていきます。小テストなどを随時実施して実力の向上と知識の定着をはかります。

【学習評価】

　年５回に行われる定期考査の成績に、宿題などの家庭学習・授業態度・出欠席を平常点として加えて総合的に評価します。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	数量関係や図形などの基本的な概念や法則を理解し、事象を数学的に解釈したりする技能を身につける。	定期テスト 小テスト プリント など
②思考・判断・表現	数学を活用し事象を論理的に考察することで、法則や図形などの性質を発見できる。 数学的な表現を用いて事象を簡潔･的確に表す力を養う。	定期テスト 小テスト プリント グループ学習等の発表 レポート など
③主体的に学習に取り組む態度	数学的な活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学の知識を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決能力を養う。	授業態度 課題提出 など

【留意事項】

【予習】　数学は説明を聞いただけで理解するのは難しい。必ず予習が必要である。最低でも教科書に目を通しておき、授業で学習することをあらかじめ理解しておくこと。

【授業】　始業までに教科書・ノート・筆記用具を準備し、授業がすぐ受けられるようにしておく。
板書をただ写すだけでなく、先生の話をよく聞き重要なポイントを聞き逃さない。

【復習】　その日のうちに、授業でやった内容を自分の力でもう一度解いてみる（繰り返しが重要)。
わからないこと・難しいことはそのままにせずに早いうちに解決すること

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	・数と式 式の計算	多項式の加法と減法　多項式の乗法	4	
	5		因数分解		
	6	実数	実数 根号を含む式の計算		
	7	一次不等式	不等式の性質　1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式		
第2学期	9	・集合と命題	集合 命題と集合		
	10		命題と証明		
	11	・2次関数 2次関数とグラフ	関数とグラフ　2次関数のグラフ	8・9	
	12	2次関数の値の変化	2次関数の最大最小		
第3学期	1		2次関数の決定		
	2	2次方程式と 2次不等式	2次方程式		
	3		2次関数のグラフと x 軸の位置関係 2次不等式		

【英語科　シラバス】

科目名	English Communication I			使用教材	教科書	PANORAMA I （大修館）
学　年	1	単位数	3		副教材	PANORAMA 予習・復習ノート・総合英語 be 4th eddition・Data Base 3300
科・コース	総合ビジネス科　会計コース・経理ビジネスコース・情報メディアコース					

【授業の概要】

「聞くこと」・「読むこと」・「やり取り」・「発表」・「書くこと」の 5 領域（スキル）の力を伸ばす活動を行いながらテキスト本文の理解を深め,各レッスンの目標（Target Task）を達成できるようにします。
学習したことを踏まえ自分の考えや意見を英語で表現し、それを説明・発表する活動を通して英語で様々な表現ができるようになり学習内容の理解をより深められることを目標とします。

【学習方法と授業の進め方】

授業は新出単語・熟語の意味を確認し,文法項目の説明を加えながら内容を理解し要点をつかめるように英文を読み進めていきます。リスニングでの内容理解の確認,自分の考えや意見の英作文や発表,ペアワークやグループワークなどの活動も行います。また予習・復習ノートを使って各パートの予習や復習を各自で取り組んでもらい,さらに各レッスンのさまざまな形式のまとめ問題を解いて内容理解の確認をします。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・各レッスンの文法項目を用いた文の意味や働きを理解し,文章の内容を理解する技能を身に付けている。 ・各レッスンの文法項目を用いた文の構造を理解し内容に関する話題について情報や考え,気持ちなどを適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。 ・各レッスンの文法項目を用いた文の構造を理解し内容に関する話題について情報や考え,気持ちなどを適切に書いて伝える技能を身に付けている。	・定期考査の「知識・技能」に関する問題
②思考・判断・表現	・聞いた内容について書いてまとめるために,各内容について話された文章の概要や要点を捉えている。 ・読んだ内容について書いてまとめるために,各内容について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 ・クラスメートにわかるように内容に関する話題について基本的な語句や文を用いて情報や考え,気持ちなどを論理性に注意して話して伝えあったり伝えたりしている。	・定期考査の「思考・判断・表現」に関する問題 ・自分の意見や考えを表現している
③主体的に学習に取り組む態度	・聞いた内容について書いてまとめるために,各内容について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。 ・読んだ内容について書いてまとめるために,各内容について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。 ・クラスメートにわかるように,内容に関する話題について基本的な語句や文を用いて情報や考え,気持ちなどを論理性に注意して話して伝えあったり伝えたりしようとしている。	・授業中のペアワークやグループワークにおける発言や参加意欲・態度 ・ワークブック等の課題の提出状況

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・事前に各パートの新出単語や熟語の意味を調べておきましょう。
・英文の内容理解に努めましょう。
・授業中のペアワークやグループワークに積極的に参加しましょう。また発表は自信を持って行いましょう。
・ワークブックやその他の課題の提出を忘れずに行いましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	Lesson 1 Words to Live By	Part1: 夢を持つことの力について理解する。 現在形/過去形の使い方 Part2: 努力の大切さについて理解する。 現在進行形/過去進行形の使い方 Part3:人間には複数のチャンスがあることを理解する。未来を表す表現の使い方		
	5	Lesson 2 My English Experience	Part1: Aya の駅での経験について理解する。 助動詞の使い方 Part2: Ryo の海外家族旅行について理解する。 受動態の使い方 Part3: Yui のオンラインでの英語経験について理解する。動名詞の使い方	４	
	6	Lesson 3 Our Feline Friends	Part1: ネコと人間の関係について歴史的経緯を理解する。不定詞の使い方 Part2: ネコの生態についての情報を理解する。 Ｓ＋Ｖ＋Ｏ（that 節）の使い方 Part3: ネコ特有の行動とその科学的説明を理解する。 接続詞の使い方		
	7	Lesson 4 Work in the Future	Part1: 人気の職業の変化について理解する。 現在完了形（完了・結果/経験）の使い方 Part2: 科学技術の進展と職業の変化の関係を理解する。 現在完了形（継続）/現在完了進行形の使い方 Part3: 将来の職業で大切なスキルについて理解する。 S＋V（be 動詞以外）＋C(形容詞)の使い方		
第2学期	9	Lesson 5 My Favorite Food: Rice	Part1: 日本における米づくりについて理解する。 比較表現の使い方 Part2: 日本における米の食べ方について理解する。 Ｓ＋Ｖ＋Ｏ＋to 不定詞の使い方 Part3: 米の栄養価や日本での消費状況について理解する。Ｓ＋Ｖ＋Ｏ＋Ｃ（名詞/形容詞）の使い方 Part:4 海外における米の消費や食べ方について理解する。Ｓ＋be 動詞＋形容詞＋that 節の使い方	２	
	10	Lesson 6 A Long Way Home	Part1: 主人公の置かれた状況について理解する。 It is~for＋<人など>＋to 不定詞の使い方 Part2: 主人公の身に起きた大きな事件の内容を理解する。前置詞句による修飾表現の使い方 Part3: 主人公の人生の転機となった出来事を理解する。現在分詞による修飾表現の使い方 Part:4: 主人公がとった行動とその結果を理解する。 過去分詞による修飾表現の使い方		
	11	Lesson 7 Can you Read Faces?	Part1: 顔の表情にはどのような力があるのかを理解する。関係代名詞（目的格）の使い方 Part2: 顔の表情についての研究の概要を理解する。 関係代名詞（主格）の使い方 Part3: 微笑みの文化的違いについて理解する。 疑問詞（how など）＋to 不定詞の使い方 Part:4 対面コミュニケーションの意義について理解する。間接疑問の使い方		
	11・12	Lesson 8 Make People Shine: Choreo-director,MIKIKO	Part1: 振付師の仕事について理解する。 仮定法過去の使い方 Part2: Mikiko の主な業績について理解する。 Ｓ＋Ｖ(使役動詞)＋Ｏ＋動詞の原形の使い方 Part3: Mikiko の仕事上の哲学について理解する。 Ｓ＋Ｖ(知覚動詞)＋Ｏ＋動詞の原形の使い方 Part:4 Mikiko の海外での活躍について理解する。 seem/appear＋to 不定詞の使い方		
第3学期	1	Lesson 9 Our Desire to Fly	Part1: 人類と飛行に関する神話や歴史について理解する。関係代名詞 what の使い方 Part2: 人類が飛行を試みた初期の歴史について理解する。関係副詞 where の使い方 Part3: 気球や飛行船による飛行の歴史について理解する。関係副詞 when の使い方 Part:4 飛行機の発明と発達の歴史について理解する。		

			助動詞を含む受動態の使い方		
	2 ・ 3	Lesson 10 Loving the Earth	Part1: R.カールソンの環境保護への貢献を理解する。 過去完了形（完了・結果/経験）の使い方 Part2: アンダーソン飛行士の環境保護への貢献を 理解する。過去完了形（継続）の使い方 Part3: 地球環境の現状と科学者の貢献を理解する。 過去完了進行形の使い方 Part:4 環境保護のために何が必要かについて理解 する。S＋V（be 動詞以外）＋C（現在分詞・ 過去分詞）の使い方	13	

【保健体育科　シラバス】

科目名	体育			使用教材	教科書	MY SPORTS（大修館書店）
学　年	1	単位数	2		副教材	なし
科・コース	総合ビジネス科					

【授業の概要】

運動の合理的な実践を通して、体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、運動能力や体力の向上を図り、自主自立を身につけた豊かな人間性の育成を重点においています。
生涯を通して継続的に運動ができる資質や能力を育てる科目です。

【学習方法と授業の進め方】

・体育委員が集合、整列、準備運動を行います。
・授業の内容説明と健康状況の確認をします。
・個々のレベルを把握し初歩的な技術を習得します。
・ゲーム形式で行います。
・整理運動と授業のまとめをします。

【学習評価】

・スキルテストを始め下記の観点別学習評価により総合的に評価する。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。 また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための合理的な行い方を身に付けている。	①授業中の行動観察 ②スキルテスト ③ゲーム(簡易ゲームも含む)
②思考・判断・表現	自己のグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	①授業中の行動観察 ②グループ学習 ③スキルテスト ④ゲーム（簡易ゲームも含む）
③主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動をしようとする。また、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。	①授業中の行動観察 ②グループ学習 ③スキルテスト ④ゲーム（簡易ゲームも含む）

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・学校指定の体操服、シューズを着用してください。また、こまめに洗濯し衛生面に気を付けましょう。
・授業はチャイムと同時に始めますので、休み時間のうちに活動場所に移動してください。
・見学者は授業前に申し出るようにしましょう。
・貴重品の管理をしっかりと行うようにしてください。
・安全面には充分気を配りましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	集団行動	・集合解散　・号令　・礼　・整列整頓　・ラジオ体操 ・気を付け休めの姿勢　・列の増減、開列	3	
	5	集団行動	・方向転換　・行進　・行進からの方向転換 ・かけ足　・まとめ、評価	3	
	6	新スポーツテスト (1)オリエンテーション (2)８種目を実施	・学習内容の理解、安全性とマナーについて ・50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、持久走	3	
	7	(3)まとめ、評価	・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび ・まとめ、評価	3	
第2学期	9	バレーボール (1)ボールに慣れる (2)基本パス	・ボールを使ってまずはバレーボールに慣れる ・アンダーハンドパス、オーバーハンドパス	3	
	10	(3)基本パス (4)サービス	・直上パス、対人パス ・対人パス、円陣パス、いろいろなパスに挑戦 ・１対１でコントロール、アンダーハンドサービス	3	
	11	(5)サービス (6)チーム練習・ゲーム	・いろいろなサーブに挑戦 ・チーム分け、コンビネーション作り、リーグ戦	3	
	12	(7)ゲーム (8)まとめ	・リーグ戦 ・まとめ、反省	3	
第3学期	1	サッカー (1)オリエンテーション (2)ボールに慣れる	・学習内容の理解、安全性とマナーについて ・ボールリフティング、パス	3	
	2	(3)基本練習 (4)ゲーム	・キック、トラップ、ドリブル、シュート ・正規のルールによるリーグ戦	3	
	3	(5)まとめ、評価	・まとめ、評価	3	

【保健体育科　シラバス】

科目名	保健			使用教材	教科書	現代高等保健体育　　（大修館書店）
学　年	1	単位数	1		副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）
科・コース	総合ビジネス科					

【授業の概要】

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにする。
生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。

【学習方法と授業の進め方】

保健は２年間を通じて学びます。
保健に関する情報は日々変化しています。マスメディアなどから健康問題に関するさまざまな情報があふれています。
生徒の皆さんが間違った認識をもたないように正しい知識を身につけていきます。
健康とは何か、健康を維持増進していくために身体の仕組みを知り、疑問があればそのままにしてしまわずに進んで質問してください。

【学習評価】

定期テストおよび下記の観点別評価により総合的に評価します。

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	・我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解できたか。 ・生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であることと定期的な健康診断を受診することの大切さを理解できたか。 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて理解できたか。 ・自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることが理解できたか。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できたか。	・授業態度 ・期末考査の知識・理解に関する問題 ・ノート提出 ・課題プリントへの取り組み
②思考・判断・表現	・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理できているか。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取り組みや社会的な対策を整理できているか。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理しているか。	・授業態度 ・期末考査の知識・理解に関する問題 ・ノート提出 ・課題プリントへの取り組み
③主体的に学習に取り組む態度	・心身の健康に関心を持ち学習しているか。 ・自らの健康課題の解決に向け、意欲的に取り組もうとしているか。 ・生涯の各段階におけるこれからの健康課題の解決に向け、学習に積極的に取り組んでいるか。	・授業態度 ・期末考査の知識・理解に関する問題 ・ノート提出 ・課題プリントへの取り組み

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

・教科書や学習ノートを必ず用意し、配布される資料やプリントは、きちんと保管してください。(定期考査に役立ちます)
・ノートをとる際は、ただ板書を書き写すのではなく、先生の発言も聞き逃すことなくメモをとるようにしましょう。
・提出物は遅れずに忘れず提出してください。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	現代社会と健康 １健康の考え方と成り立ち	さまざまな健康の考え方について例をあげて学んでいきます。 ・健康についての多様な考え方 ・健康の成り立ちとその要因	3	
	5	２私たちの健康のすがた ３生活習慣病の予防と回復	わが国の健康水準とその背景、現在の健康問題について学びます。 ・わが国における健康水準の向上 ・わが国における健康問題の変化 生活習慣病の一次予防、二次予防について学びます。 ・生活習慣病とその種類 ・予防から回復まで	3	
	6	４がんの原因と予防 ５がんの治療と回復	がんの一次予防と二次予防について例をあげながら学んでいきます。 ・がんとその種類 ・がんの予防 がん検診の普及や情報サービスの対策を学びます。 ・がんの治療と緩和ケア ・がんとともに生きる社会づくり	3	
	7	６運動と健康	健康と運動の関係について学びます。 ・健康からみた運動の意義 ・健康によい運動のしかた	3	
第2学期	9	７食事と健康 ８睡眠と健康 ９喫煙と健康	食事と健康の関係を学びます。 ・健康的な食生活の意義 ・健康によい食事のとり方 健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について学びます。 ・健康からみた休養の意義 ・健康からみた睡眠の意義 喫煙者やその周囲の人に起こる害について学びます。 ・喫煙の影響・喫煙への対策	3	
	10	10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	飲酒による短期的影響と長期的影響や個人や社会環境への対策について学びます。 ・飲酒の影響 ・飲酒への対策 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策を学んでいきます。 ・薬物乱用の影響・薬物乱用の要因と対策	3	
	11	生涯を通じる健康 １ライフステージと健康 ２思春期と健康	各ライフステージで活用できる社会からの支援について学びます。 ・ライフステージと死亡や病気 ・各ライフステージにおける健康課題とその支援 思春期における体の変化や心の発達に関わって起こる問題について学びます。 ・思春期の体と健康・思春期の心と健康	3 5	
	12	３性意識と性行動の選択	性意識の男女差について学びます。 ・性意識とその尊重 ・性に関する情報と性行動	3 5	
第3学期	1	４妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程における健康課題について学びます。 ・受精・妊娠・出産・母子保健サービスの活用	3	
	2	５避妊法と人工妊娠中絶	人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について学びます。 ・家族計画の意義と避妊法 ・人工妊娠中絶	3	
	3	６結婚生活と健康	結婚生活を健康的に送るために必要な考え方について学びます。 ・結婚生活の基盤となる心身の発達 ・結婚生活と家族の健康	3	

【音楽科　シラバス】

科目名	音楽Ⅰ			使用教材	教科書	音楽Ⅰ　Tutti+(プラス)
学　年	1	単位数	1		副教材	なし
科・コース	総合ビジネス科					

【授業の概要】

学校の中で、日々、繰り返される様々な出来事の中、唯一「楽しい」しいう字をあてられたもの、それが　”音楽”です。音楽は、文字通り「音を楽しむ」ものです。決して「音が苦」になってはいけません。音楽をする喜び、楽しみを味わい、芸術に対する興味、関心も深めましょう。またその活動を通して人間性を育み感性を豊かにする事こそ音楽Ⅰの目標です。

【学習方法と授業の進め方】

音楽Ⅰの授業の中心は「歌」です。独唱曲を中心に、歌唱力を身につけ、世界の多くの歌、日本の歌に触れていきます。特に外国の歌では、イタリア語、ドイツ語の歌曲も取り上げ、原語で歌って行きます。２学期には、リコーダーも取り入れて、独奏、重奏など、リコーダーの基本から応用まで、教科書の曲以外の曲にも挑戦。最近の JPOP の曲も取り入れて行きます。また充実した音響と映像設備によるクラシック、日本音楽鑑賞、ミュージカル鑑賞等も行います。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	【知】言葉の特性と曲種に応じた発声(奏法)との関わり，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声(奏法)，言葉の発音，身体の使い方、奏法などの技能を身に付け，歌唱で表している。 【知】日本語の抑揚，アクセント，リズムなどの言葉の特性及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】音符の特性を生かしてリコーダー演奏技能を身に付け，表現している。 【知】鑑賞において曲想や表現上の効果と音楽の構造ミュージカルについての知識を理解している。	定期考査、授業中の歌唱やリコーダーの発表等
②思考・判断・表現	音色，リズム，旋律，強弱，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，自己のイメージをもってどのように歌うか、演奏するかについて思いや意図をもっている。 自分や社会にとっての音楽の意味や価値，音楽表現の共通性や固有性について考え，曲や演奏に対する評価とその根拠について、ミュージカルやクラシック音楽日本の歌舞伎の良さや美しさを自ら味わって鑑賞している。	定期考査、歌唱やリコーダーの実技試験
③主体的に学習に取り組む態度	ドイツ語、イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 日本語の抑揚や間，語感，歌詞としてのまとまりが旋律の流れやフレーズにどのように表され，曲想を生み出しているかに関心をもつ。 リコーダーの奏法を身に付けることや技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ミュージカルの表現力の発見、オーケストラの響き，ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりする面白さに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的･協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	音楽鑑賞のノート提出、授業中の歌唱練習観察、リコーダー練習観察、ミュージカル、クラシック音楽、歌舞伎等の鑑賞態度等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど
音楽は、特に予習も復習も必要ありません。その代わり、週２回の貴重な時間、積極的な取り組みを期待します。音楽を理解し、愛好する心情を育むには、能動的なかかわり方が求められます。決して受身にならず、主体的な姿勢で授業に臨むことが必要です

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	校歌を覚えよう 美しい発声 日本の歌(1)	入学当初は、まず校歌を覚えるとともに、高校生にふさわしい美しい発声をマスターすることから始めます。昔から歌われてきた有名な日本の歌を学習。	16	
	5	ドイツの歌を歌おう 日本の歌(2)	世界でも有名なドイツ語で歌う歌曲を勉強します。変わった発音、ウムラウトなど、ユーモアを含めて楽しく歌って行きます。有名な日本の歌も学習します。	16	
	6	イタリアの歌を歌おう 楽典 音楽鑑賞 日本の歌(3)	イタリアのカンツォーネと言えば、世界を代表する歌です。その魅力をあますことなく味わいます。また簡単な音楽の知識の学習、音楽鑑賞も行います。	16	
	7	世界の歌 楽典 音楽鑑賞	イギリス、イタリア、ドイツの歌を総合的に探究し、歌いこんでゆきます。音楽理論を学びます。クラシック音楽をわかり易く解説しバロックを鑑賞します。	16	
第2学期	9	リコーダーの基本を学習 日本の歌を吹いてみよう 卒業式歌	リコーダーの基本的な運指をマスターしよう。中学時代、楽器を経験しなかった生徒でも安心。ゆっくり進んでゆきます。名曲「ふるさと」をマスターします。卒業式歌		
	10	リコーダーの応用 アンサンブルの基礎 世界の歌　卒業式歌	リコーダーの楽器の構造、歴史などを学びます。曲はポピュラーな楽譜を用意、楽しみながら演奏。世界の歌を歌う　また卒業式歌を歌う		
	11	リコーダーアンサンブルを楽しもう 世界の歌　卒業式歌	歌のような合唱と同様、リコーダーでも二重奏、三重奏を吹いてみると楽しさが倍増します。世界の歌を歌う。また、卒業式歌を歌う		
	12	リコーダーの名曲に挑戦！ベートーベン交響曲「第九番」第９番の歌唱	ソロでリコーダーを吹いてみよう。今までの成果を発表する機会です。ベートーベンの第九。ベートーベンの人生、歴史についても触れてみます。卒業式歌		
第3学期	1	歌舞伎を研究しよう オペラを楽しもう ミュージカル鑑賞　① 卒業式歌	長唄「勧進帳」について学習、鑑賞。オペラ「魔笛」について研究、鑑賞します。ミュージカル「ウエストサイド物語」「オペラ座の怪人」を鑑賞します。卒業式歌を歌う。	10	
	9	リコーダーの基本を学習 日本の歌を吹いてみよう 卒業式歌	リコーダーの基本的な運指をマスターしよう。中学時代、楽器を経験しなかった生徒でも安心。ゆっくり進んでゆきます。名曲「ふるさと」をマスターします。卒業式歌	10	
	3	アジアの音楽を味わおう ピアノ曲について ミュージカル鑑賞　③	中国、韓国、日本の名曲を歌います。世界中の有名なピアノ曲を少しずつ切り取って鑑賞します。高校生ミュージカルとして有名な「ハイスクールミュージカル」の鑑賞をします。	10	

【商業科　シラバス】

科目名	ビジネス基礎			使用教材	教科書	ビジネス基礎（実教出版）
学　年	1	単位数	2		副教材	ビジネスコミュニケーション検定問題集
科・コース	総合ビジネス科　総合ビジネスコース					

【授業の概要】

ビジネスを適切に展開して企業の社会的責任を果たす視点を持ちビジネスの場面を想定し、身近な地域のビジネスの動向を捉える実践的・体験的な学習活動を行うこと等を通して、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展のためビジネスの展開について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。

【学習方法と授業の進め方】

各単元の基本事項の解説を行う。社会的事象（一般社会・企業）や具体的事例等を取り込みつつ理解を深める。確認問題などを単元ごとに実施し、グループワークによる発言力・協調性を養い実力の向上と知識の定着をはかる。

【学習評価】

定期考査の成績に、宿題などの家庭学習・授業態度・出欠席を平常点として加えて総合的に評価する。

観点別評価

評価の観点	内　　容	評価方法
①知識・技能	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。	定期テスト 小テスト プリント　など
②思考・判断・表現	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見する。企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向やビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決ことについて考えている。	定期テスト 小テスト プリント　など
③主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識する。当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。	定期テスト 小テスト プリント　など

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

【予習】　具体的な事例等を取り入れた学習をするので、新聞やニュースを注視し企業の動向をチェックしておく。

【授業】　教科書・ノート・筆記用具を準備し、板書事項のみでなく教員の説明も丁寧にノートに記入しておく。また、ＰＣやクロームブックを活用した授業展開も実施するので操作方法の理解や、データを管理ができるようにする。

【復習】　理解できない項目はそのままにせず教科書ノートの見直しを実施し、不明な箇所については教科担任に質問すること。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第１章商業の学習とビジネス １．いざビジネスの世界へ	・商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解する	4	
	5	第１章商業の学習とビジネス ２．私たちの社会とビジネス	・ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて学ぶ。	7 13	
	6	第２章 ビジネスとコミュニケーション １．コミュニケーション ２．ビジネスマナー ３．情報の入手と活用	・ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学ぶ。 ・ビジネスマナーの意義を理解し、場面に応じて考え、活動できる力を身につける。 ・企業活動における情報の重要性について理解し、情報の活用及び評価・改善を行う。	8	
	7	第３章 経済と流通の基礎 １．経済の仕組みとビジネス ２．経済活動と流通	・経済の仕組みと流通の必要性について理解する。 ・経済の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識を基盤として、流通に関する課題を見つける。 ・流通を支える組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につける。	8	
第2学期	9	第４章 さまざまなビジネス １．ビジネスの種類 ２．小売業	・ビジネスの種類について理解し、流通や流通に関わる様々なビジネスについて学び ・流通や流通に関わるビジネスに関する知識を基盤として、流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。 ・流通や流通に関わる組織の一員としての役割を果たすための力を身につける。	8	
	10	第４章 さまざまなビジネス ３．卸売業 ４．金融業	・流通や流通に関わるビジネスに関する知識を基盤として、流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。 ・流通や流通に関わる組織の一員としての役割を果たすための力を身につける。	8	
	11	第４章 さまざまなビジネス ５．情報通信業	・流通や流通に関わるビジネスに関する知識を基盤として、流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考える。 ・流通や流通に関わる組織の一員としての役割を果たすための力を身につける。	8	
	12	第５章 企業活動の基礎 １．ビジネスと企業 ２．マーケティングの重要性	・企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に必要な知識を学ぶ。	8	
第3学期	1	第５章 企業活動の基礎 ３．資金調達 ４．財務諸表の役割	・企業活動に関する知識を基に、企業活動の動向など、企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考える。 ・企業活動の展開について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につける。	8	
	2	第５章 企業活動の基礎 ５．企業活動と税 ６．雇用	・企業活動に関する知識を基に、企業活動の動向など、企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考える。 ・企業活動の展開について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につける。	8	
	3	第６章 ビジネスと売買取引 １．売買取引の手順 ２．代金決済	・売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学ぶ。 ・取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考える。 ・契約の履行と締結について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につける。	8	

【商業科　シラバス】

科目名	簿　　記			使用教材	教科書	高校簿記（実教出版）
学　年	1	単位数	5		副教材	最新段階式簿記検定問題集全商２･3級、1級会計（実教） 全商簿記実務検定模擬試験問題集２･3級（実教）
科・コース	総合ビジネス科　総合ビジネスコース					

【授業の概要】

簿記とは、企業の経営活動を一定のルールに従って、記録・計算・整理することをいいます。企業は、財産管理や財政状態、経営成績を簿記の知識・技術を用いて把握していきます。簿記の授業では、日々の取引をどのように記録しているのか、またその記録によってどのように財産状態、経営成績を把握しているのかなどを中心に学習していきます。

【学習方法と授業の進め方】

①教科書の説明や例題を通して、会計処理や帳簿等の意味・記帳の方法を実務に即して理解する。
②問題集を通して、会計処理や帳簿作成等の技術を習得する。
③検定過去問題集を活用し、簿記の理解を深め、簿記の社会的ニーズを理解する。
　①から③の活動を通じて、全商簿記実務検定の取得を目指す。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技術	簿記について実務に即して体系的･系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	定期考査、小テスト等。
②思考・判断・表現	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	定期考査、小テスト等。
③主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び，適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	記述課題等。

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

継続して頑張っていきましょう。課題がたくさん出ますが、少しずつやっていきましょう。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	第１章　企業の簿記	企業における簿記の有用性や重要性、簿記の文化的・歴史的背景を学習する。		
		第２章　簿記の要素	簿記の基本的な要素を学習する。		
		第３章　取引と勘定	日々の取引と各勘定との関係を学習する。		
		第４章　仕訳と転記	仕訳の方法と転記について学習する。		
		第５章　仕訳帳と総勘定元帳	仕訳帳と総勘定元帳との関係を学習する。		
	5	第６章　試算表	各試算表の特性と貸借平均の原理について学習する。	16	
		第７章　決算	決算処理の基本と簿記一巡の手続きについて学習する。	9	
		第８章　現金・預金の記帳	簿記における現金の扱いや各種出納帳の書き方、過不足の処理について学習する。		
		第９章　商品売買の記帳	簿記における商品に扱いや仕入・売上等に関する帳簿の書き方を学習する。	9	
		第10章　掛け取引の記帳	簿記における掛け取引の意味と、総勘定元帳と補助元帳の関係を学習する。		
		第11章　固定資産の記帳	固定資産の意味や取得・売却の処理について学習する。		
		第12章　決算（その１）	決算整理の意味と実務的な会計処理を学習する。	9 8	
	6	第13章　手形取引の記帳	手形債権と手形債務について学習する。		
		第14章　その他の債権・債務	その他の債権・債務について学習する。		
		第15章　販売費及び一般管理費の記帳	簿記における税金の基本的な処理について学習する。		
		第16章　資本金の記帳	個人企業における資本金について学習する。		
		第17章　決算（その２）	決算処理の応用的な会計処理を学習する。	16	
	7	第18章　帳簿	簿記における帳簿組織について学習する。		
		第19章　仕訳伝票と３伝票制	仕訳をもとに伝票に起票する方法を学習する。		
第2学期	9	第20章　会計ソフトウェア	会計ソフトウェア等を利用し、社会で簿記がどのように活用されているのかを学習する。		
	10	第21章　有価証券とその他手形取引の記帳	有価証券の意味や取得・売却の処理について学習する。また、手形の応用的な処理について学習する。		
	11	第22章　決算（その３）	決算処理の実践的な会計処理を学習する。		
	12	第23章　支店の取引	本店・支店が独立した財務諸表を作成しているときの会計処理を学習する。		
		第24章　本支店の財務諸表の合併	本支店を合併したときの会計処理を学習する。		
第3学期	1	第25章　設立と開業の記帳	株式会社の設立と開業について学習する。		
	2	第26章　剰余金の処分に関する記帳	株式会社における純資産の処理について学習する。		
	3	第27章　株式会社の税金の記帳	株式会社における税金の応用的な処理を学習する。	9	

【商業科　シラバス】

科目名	商業演習Ⅰ			使用教材	教科書	なし
学　年	1	単位数	3		副教材	ビジネス計算実務検定問題集１・2・3級 ビジネス文書実務検定問題集２・3級
科・コース	総合ビジネス科　総合ビジネスコース					

【授業の概要】

ビジネス計算、ビジネス文書、商業デザインの基礎的な知識と技術を習得させ、情報機器利用技術の向上や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動に活用する能力と態度を育てます。

【学習方法と授業の進め方】

電卓の普通計算は、問題集を中心に計算練習を行います。
ビジネス計算は、実習を中心に授業展開をしていきます。使用教室は、ＩＴ教育ルームなどを利用し、実際に検定試験に出題される内容の模擬問題を数多く練習することにより、検定合格を目指します。

【学習評価】

電卓、情報機器ともにタッチメソッドができるように練習します。
定期試験 70%、授業に対する取り組み方（小テスト、検定試験の得点、課題等）30%
観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解しているとともに，関連する技術を身に付けている	定期考査
②思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	定期考査等
③主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	授業内課題等

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

実技科目なので、問題集を使って繰り返し何度も練習することが基本です。
他の科目との関連性もあるので、きちんと学習してください。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	電卓の基礎	入力するときの指の分担	7	
	5	キータッチの練習	下段、中段、上段、段外の練習		
	6	キータッチの練習 電卓検定の指導と準備	タッチメソッド、指の分担練習		
	7	文字入力練習 外国為替の換算	通信文の作成 ドル、ユーロ、ポンド、円の換算		
第2学期	9	事務用通信文書の練習	右揃え、改行、中央揃え、横倍角、表の挿入、均等割り付け	10	
	10	仕入原価と販売価格の計算 金利に関する計算 事務用通信文書の練習	原価、売価、定価の計算 利息、元利合計、割引料の計算 網掛け、下線、均等割付		
	11	電卓検定対策 ビジネス文書検定の指導と準備	普通計算、ビジネス計算 速度、事務用通信文書の作成、筆記	17	
	12	速度練習	速度、事務用通信文の作成	4	
第3学期	1	ビジネス計算練習 事務用通信文練習	売買損益の計算 速度、通信文の作成、筆記		
	2	普通計算、ビジネス計算 事務用通信文練習	加減算、乗算、除算、売買損益の計算 速度、事務用通信文書の作成、筆記		
	3	普通計算、ビジネス計算 事務用通信文練習	1年間のまとめ 1年間のまとめ		

【商業科　シラバス】

科目名	情報処理			使用教材	教科書	最新情報処理（実教出版）
学　年	1	単位数	4		副教材	情報モラルテーマ２１（東京書籍） 全商情報処理検定模擬試験問題集２・３級（実教出版） 最新情報Ⅰ第６章 Python 版＋ノート（実教出版） テンプレート
科・コース	総合ビジネス科　総合ビジネスコース					

【授業の概要】

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成することを目指します。

【学習方法と授業の進め方】

教科書を使用して、講義・実習をすすめていきます。実習ではコンピュータ教室のパソコンを活用したり、教室や課題への取組みにタブレットも活用します。
全商主催の検定取得に向けても取り組んでいくため、時期に合わせて問題集を活用し、１年次で情報処理検定２級、ビジネス文書検定３級の取得を目指します。

【学習評価】

観点別評価

評価の観点	内容	評価方法
①知識・技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。	定期テスト、課題提出、小テストなど。
②思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	定期テスト、課題提出、小テストなど。
③主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び，企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	授業への取組み姿勢、課題提出など。

【留意事項】授業に取り組む上でのアドバイスなど

幅広い内容を学んでいきますが、実習も多くあるため、飽きずに学べると思います。タブレットも活用し、効率よく取り組むことが出来ると思いますので、積極的に学んでください。

年間指導計画

学期	月	単元名	学習内容	SDGs	備考欄
第1学期	4	１章　企業活動と情報処理 １節　情報処理の重要性 ２節　情報モラルと法規 ３節　コミュニケーションと情報デザイン	身近な事例を基に情報とは何かを考える学習活動により，情報の意義と役割を理解する。 社会で利用されている情報システムの例や，ビジネスにおける情報活用の実際を学ぶことにより，コンピュータを利用した情報の処理や活用の重要性を理解する。 情報処理に関わる職業や仕事を学ぶことにより，ICT 人材に求められる役割と身につけるべき能力の概要を理解する。 身近な事例から情報の価値を考える学習活動により，情報を正しく取り扱うことの大切さに気づき，そのために必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解する。 情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性と，その概要を理解する。 企業における適切な情報処理について理解するとともに，関連する技術を身に付ける。		

	5	２章　コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 　１節　コンピュータシステムの概要 　２節　情報通信ネットワークのしくみと構成 ３節　インターネットの活用 　４節　情報セキュリティの確保	コンピュータの基本的な機能と構成を理解し，ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解するとともに，それを活用する基本的な技術を身に付ける。 　情報通信ネットワークを利用したビジネス情報の検索と活用方法について理解する。 電子メールの利用方法について理解する。 　情報化社会に参画するために個人が身につけるべきセキュリティ管理の方法について理解する。		
	6	３章　情報の集計と分析 １節　ビジネスと統計 　２節　関数を利用した表の作成	情報の重要性を理解し，情報を分析して，傾向を把握する能力を身に付ける。 基本的な操作や計算式及び関数について理解し，目的に応じて適切な表の作成する技術を身に付ける。	4	
	7	３節　グラフの作成	グラフの種類や構成要素，特色を理解し，表計算ソフトウェアを利用して目的に合ったグラフ作成方法について理解する。	4	
第２学期	9	３章　情報の集計と分析 　４節　情報の整列・検索・抽出 ５節　問題の発見と解決の方法	大量のデータを目的に応じた利用しやすい形で活用するために，表計算ソフトのデータベース機能を利用して，整列や検索，抽出の技法について理解する。 事象をモデル化し，シミュレーションを行う基礎的な技法及びアルゴリズムを考案し，プログラムとして表現する基礎的な技法を用いた問題の発見と解決について考察する。また，ロジックツリー，PPM 分析などを活用した情報の整理及び PDCA サイクルによる企業活動の改善について理解する。		
	10	４章　ビジネス文書の作成 　１節　ビジネス文書と表現 ２節　基本文書の作成 　　１．ワープロの操作と入力方法	文書情報がコミュニケーションの重要な手段として，ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解する。 ワープロの利用に関する知識と技術を習得させ，文書の構成，構成要素の配置，文書作成の要領について理解する。	4	
	11	２節　基本文書の作成 　２．ワープロを利用した文書の作成 　３．社外文書 　４．社内文書	基本的な社内文書や社外文書を取り上げて，作成に関する知識と技術について理解する。	4	
	12	３節　応用文書の作成	ワープロの多様な機能を利用して，表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術について理解する。	4	
第３学期	1	５章　プレゼンテーション 　１節　プレゼンテーションの技法	ビジネス活動におけるプレゼンテーションの意義を理解するとともに，基礎的な技法を身に付ける。	4	
	2	２節　ビジネスにおけるプレゼンテーション	目的や形態によるプレゼンテーション方法の違いにつて理解するとともに，プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して，資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動について理解を深める。	4	
	3	総合演習	各種ソフトウェアを適切に活用し，様々な報告書や文書を作成，または発表する。		